

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (http://www.presskogyo.co.jp)
	ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所第一部
証券コード	7246
単元株式数	100株

【株式に関するお手続きについて】

● 特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定※ 	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) 【手続書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 TEL: 0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	

※特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

● 証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

PRESS プレス工業株式会社

〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号
TEL: 044-266-2581 (代表) FAX: 044-276-3934
<http://www.presskogyo.co.jp>

コーポレートガバナンスに関する情報

当社ホームページの投資家情報内にて、当社のコーポレートガバナンスに関する資料（コーポレートガバナンス報告書、コーポレートガバナンスガイドライン）を掲載させて頂いておりますので、是非ご覧ください。



<http://www.presskogyo.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7246**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

● アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

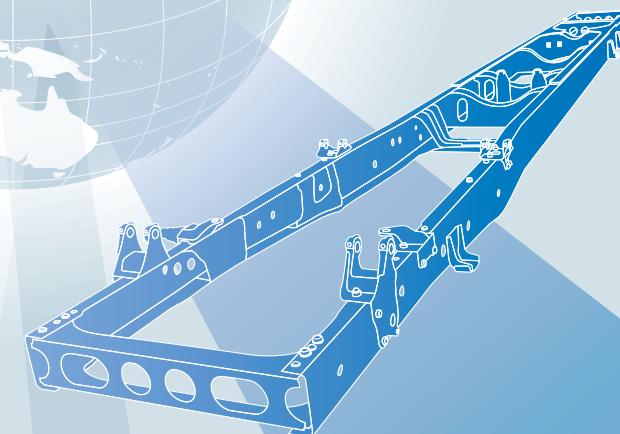
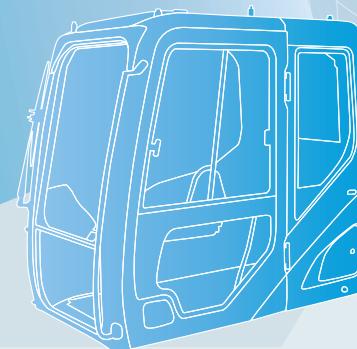
PRESS KOGYO

株主通信

第114期 中間報告書
平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



Pursuing Further Growth as a Global Specialty Manufacturer





代表取締役社長

角堂 博茂

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第114期第2四半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の業績につきましてご報告させていただきます。

当第2四半期の業績の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下の通りであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、大型トラックの需要が好調であったこと等により、前年同期比3.0千台増の42.3千台となりました。輸出は、前年同期と同水準となりました。小型トラックの国内需要は、46.7千台と前年同期に比べ2.6千台増加しました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの

国内需要は、排ガス規制前駆け込み需要の反動減が継続し前年同期に比べ減少しました。また、輸出も減少しました。

海外の事業環境は、次の通りであります。

タイ：1tピックアップトラックは、輸出向けは堅調に推移しましたが、消費低迷の継続により国内需要が減少し、前年同期に比べ減少しました。

米国：乗用車需要は前年度割れも、ピックアップトラックやSUV等の小型トラック需要が増加し、市場全体の自動車販売台数は前年同期に比べ増加しました。

中国：建設機械需要は、長引く景気の低迷やインフ

ラ投資の縮小により、前年同期に比べ半分以下となる等、非常に厳しい状況が続いております。

インドネシア：資源価格の下落、通貨安の影響が継続し、建設機械・商用車需要は低調に推移しました。

欧州：商用車需要が好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,003億13百万円（前年同期比9.7%増）となり、営業利益は50億71百万円（前年同期比18.8%増）、経常利益は47億43百万円（前年同期比16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億21百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

セグメント別の業績

(自動車関連事業)

当社グループの国内向け生産は、普通トラックは、前年は在庫積み増しに伴う生産増があったため、前年同期に比べ減少しましたが、小型トラックは緩やかな景気回復により前年同期に比べ増加しました。普通トラックの輸出向けは、完成車用は減少しましたが、ノックダウン部品は増加しました。小型トラックの輸出向けは、ノックダウン部品はインドネシア向けが大幅に減少したものの、完成車は産油国向けが大幅に増加したことにより、前年同期に比べ増加しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

タイ：TSPKKグループの売上高は、新規拡販部品の生産本格化により、前年同期に比べ増加しました。また、製品立ち上げ時のロスコスト、労務費・経費の抑制を進めてまいりました。

米国：PK U.S.A.,INC.の売上高は、原油安を背景にピックアップトラックやSUVの需要が好調に推移した結果、前年同期に比べ増加しました。また、昨年受注したアクスル関連部品の生産が本格化するとともに、ドア補強部品等の拡販を進めてまいりました。

インドネシア：中・小型トラック用フレームは、2014年1月からの生産開始後、徐々に生産台数が増加しておりますが、計画からは低水準に留まっております。

欧州：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産は堅調に推移し、売上高は前年同期と同水準となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は881億78百万円（前年同期比15.2%増）となり、セグメント利益は67億26百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

(建設機械関連事業)

当社グループの国内向け生産は、油圧ショベルの需要減少が継続し、前年同期に比べ減少しました。輸出は、先進国向けは堅調に推移したものの、新興国・資源国の需要が減少した結果、当社尾道工場の生産は前

TO OUR SHAREHOLDERS

[株主の皆様へ]

年同期に比べ減少しました。また、当社子会社協和製作所の生産は、鉱山機械需要の低迷継続により、前年同期に比べ減少しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

中国：長引く景気の低迷により、蘇州普美駕駛室有限公司 (PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.) の生産は減少がとどまらず前年同期を大きく下回る等、非常に厳しい事業環境が継続しております。今後も需要回復が不透明であるため、管理体制の効率化等により収支の改善を図ってまいります。普莱斯工業小型駕駛室 (蘇州) 有限公司 (PRESS KOGYO

MINI CABIN(SUZHOU)CO.,LTD.) の生産は、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：鉱山機械需要の長期低迷により、PT.PK MANUFACTURING INDONESIA の生産は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は122億71百万円 (前年同期比20.4%減)、セグメント利益は46百万円 (前年同期比92.2%減) となりました。

当社グループは引き続き、専門メーカーとしての開発力・技術力・ものづくりの強みを結集し、成長戦略を推進してまいりますので、株主の皆様のご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

連結業績

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



※業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますのでご承知おきください。

SALES BY SEGMENT

[セグメント業績]

自動車関連事業

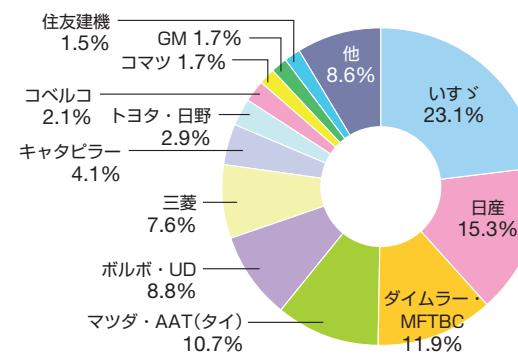


建設機械関連事業

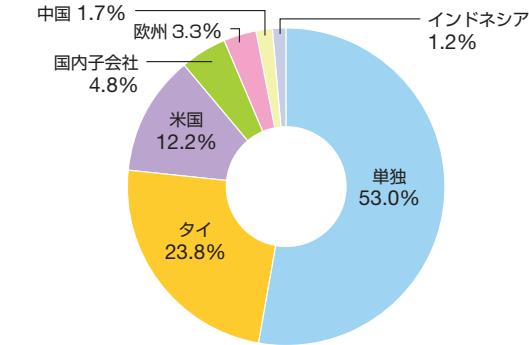


平成28年3月期第2四半期

【顧客別売上高構成】



【地域別売上高構成】



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 第114期 (第2四半期) 平成27年 9月30日現在	第113期 (第2四半期) 平成27年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,327	70,003
固定資産	93,682	96,938
有形固定資産	82,980	84,338
無形固定資産	1,137	1,236
投資その他の資産	9,564	11,363
資産合計	163,010	166,941
負債の部		
流動負債	60,169	61,308
固定負債	27,286	31,096
負債合計	87,455	92,404
純資産の部		
株主資本	49,032	46,963
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,075	2,075
利益剰余金	40,084	38,014
自己株式	△1,197	△1,196
その他の包括利益累計額	21,524	22,665
その他有価証券評価差額金	1,591	2,945
土地再評価差額金	16,843	16,843
為替換算調整勘定	3,143	2,999
退職給付に係る調整累計額	△53	△122
非支配株主持分	4,997	4,907
純資産合計	75,554	74,536
負債純資産合計	163,010	166,941

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 第114期 (第2四半期) 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	第113期 (第2四半期) 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高	100,313	91,417
売上原価	88,780	81,254
売上総利益	11,533	10,162
販売費及び一般管理費	6,461	5,891
営業利益	5,071	4,271
営業外収益	175	158
営業外費用	504	341
経常利益	4,743	4,088
特別利益	4	7
特別損失	394	7
税金等調整前四半期純利益	4,353	4,087
法人税等	1,564	2,037
四半期純利益	2,788	2,050
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	66	△480
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,721	2,531

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別 第114期 (第2四半期) 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	第113期 (第2四半期) 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,014	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,513	△4,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,057	3,267
現金及び現金同等物に係る 換算差額	6	△60
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	449	△1,327
現金及び現金同等物の 期首残高	15,495	12,153
現金及び現金同等物の 四半期末残高	15,944	10,826

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Topics 1 新規事業について

当社では、コア商品である建設機械用キャビンで培った技術等を生かした新製品を開発・販売しております。

地震シェルター (2015年4月より販売中)



地震シェルター

シェルター設置例

工場、倉庫などに設置し、落下物から人命を守る避難用シェルターです。高強度の構造と、安全性を追求した高品質の仕上がりとなっております。オプションで緊急地震速報受信装置を連動させ、本震到達前の安全な避難が可能です。

MOTO CELLAR (開発中)

堅牢性、デザイン性を重視したショーケース感覚のバイクガレージです。「どこからでも眺められる」をコンセプトとし、4面に大型のポリカーポネートを採用。質感にこだわった美しい仕上がりとし、ライトアップ機能により、バイクを美しく際立たせます。



製品外観

「東京モーターサイクルショー」での展示風景

火山噴石シェルター (開発中)

登山道等に設置し、火山噴火時に人命を守る噴石専用シェルターです。ガードは、工場の骨組みに用いられるH鋼を採用。窓付近は格子状で噴火時も外部状況を確認できます。また、ガードの取り付け面数も追加できます。



製品外観

「危機管理産業展2015」へ出展いたしました

水素関連装置事業 (開発中)

フレイン・エナジー社との共同開発で、水素供給装置の実証機による性能試験・評価を実施中です。



【新製品に関するお問合せ先】

プレス工業株式会社 新規事業部
〒252-0816
神奈川県藤沢市遠藤2003番地の1
TEL：0466-89-3543

タイ拠点について

タイにおける子会社THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.、THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.にて、新規受注及び新規モデル製品が順次立ち上がりました。今後も、商権の維持拡大に向け、グループの総力を挙げて積極的な受注活動を行なってまいります。



THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.

オートアライアンス（タイランド）様向けSUV用フレームを、2015年7月に生産開始致しました。



THAI SUMMIT PKK CO., LTD.

三菱自動車（タイランド）様向けのSUV用フレームを、2015年8月に生産開始致しました。



QCサークル活動報告

当社のQCサークル活動は、活動の目的を企業貢献と人材育成の2本柱とした小集団活動として実践しています。業務直結・企業業績向上への貢献に活動の軸足を移し、活力ある職場づくりにつなげようとしており、品質向上だけでなく、生産性向上、原価低減など安全面も含め、小集団活動を通じて職場の改善を図っております。

また、活動成果を当社の全社改善事例発表大会（年2回）で報告しており、優秀なサークルは神奈川地区の発表大会に参加しています。2011年度はQCサークル本部より「QCサークル石川馨賞」を受賞、2014年度には関東支部JHSチャンピオン大会銀賞を受賞しております。今年2015年度は神奈川地区発表大会において、厚木市長賞・横須賀市長賞・藤沢市長賞・神奈川県商工会議所連合会会頭賞を受賞する快挙を成し遂げております。今後とも、お客様の様々なニーズにお応えできるよう、小集団活動を通じてものづくりの力を高めてまいります。



陸上競技部がニューイヤー駅伝に出場いたします（7年連続7回目）

11月3日（火）に埼玉県にて行われた第56回東日本実業団対抗駅伝競走大会に当社陸上部が出場いたしました。

結果は9位となり、見事元旦に開催されるニューイヤー駅伝の出場権を獲得いたしました。

今回で初出場より7年連続7回目の出場となり、さらなる飛躍に向け選手・スタッフ一丸となって挑戦してまいりますので、株主の皆様のご温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

2016年1月1日（金）9時15分スタート



GROUP NETWORK

[グループネットワーク]



CORPORATE DATA / STOCK INFORMATION

[会社データ / 株式の状況]

会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号	プレス工業株式会社 PRESS KOGYO CO., LTD.
本店所在地	〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号 TEL 044-266-2581 (代表)
事業所所在地	川崎工場 (川崎市川崎区) 横浜事務所 (横浜市西区) 宇都宮工場 (栃木県下野市) 埼玉工場 (埼玉県川越市) 藤沢工場 (神奈川県藤沢市) 尾道工場 (広島県尾道市)
創立	大正14年2月16日
資本金	8,070,221,336円
従業員数	1,930名 (連結従業員数 6,222名)

主要な子会社 (平成27年9月30日現在)

- 株式会社協和製作所
- 尾道プレス工業株式会社
- 銲金工業株式会社
- PK U.S.A., INC.
- PRESS KOGYO SWEDEN AB
- THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.
- THAI SUMMIT PKK BANGPAKONG CO.,LTD.
- THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.
- 蘇州普美駕駛室有限公司
- 普萊斯冲圧部件(蘇州)有限公司
- 普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司
- PT. PK MANUFACTURING INDONESIA (他14社)

役員 (平成27年10月1日現在)

代表取締役社長 兼社長執行役員(CEO)	角堂 博茂	監査役(社外監査役)	竹内 淳	上席執行役員	馬林 栄司
代表取締役副社長 兼副社長執行役員(CTO)	高橋 正美	監査役(社外監査役)	中川 治	執行役員	矢原 洋
取締役 兼専務執行役員(CFO)	齊藤 正人	監査役	鳥谷尾雅幸	執行役員	内田 正巳
取締役兼常務執行役員	池田 裕彦	常務執行役員	尾浪 和彦	執行役員	二村 幸一
取締役兼常務執行役員	美野 哲司	常務執行役員	行川 満夫	執行役員	増田 昇
取締役兼常務執行役員	村山 哲	常務執行役員	遠藤 徳明	執行役員	中山 雅一
取締役(社外取締役)	原田 忠禮	常務執行役員	石丸 隆夫	フェロー	ピーター・カドストム
取締役(社外取締役)	山根八洲男	常務執行役員	瀬上 和利		
常勤監査役	星野 克行	常務執行役員	中山 隆史		

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	114,007,210 株
株主数	7,530 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いすゞ自動車株式会社	10,151	9.35
JP MORGAN CHASE BANK 385632	6,401	5.89
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE NVIO1	6,065	5.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,358	4.93
RBC ISB A / C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	3,625	3.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,356	3.09
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	2,595	2.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,318	2.13
プレス工業従業員持株会	2,244	2.07
プレス工業取引先持株会	2,233	2.06

※1. 上記のほか、当社が保有している自己株式が、5,380,133株あります。
 ※2. 持株比率は自己株式保有総数を控除して計算しております。

